研究概要（平成22年度）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（持続可能な社会・政策研究）

<研究課題名>	E－0805 (Hc-085)	バイオマスを高度に利用する社会技術システム構築に関する研究

<研究概要>

本研究の目的は、「バイオマスを高度に利用する社会技術システム構築」を目指し、多様なバイオマス資源の利用を進めるための物流システムと、エネルギーなどの有価物への変換システムとからなるバイオマス利用のシステム全体を求める方法論を確立し、それを支援する技術情報基盤を整備することである。本研究の成果目標は、地域の実情把握と分析、技術情報基盤の開発、社会技術システムの導入過程に関する研究とそれらの青森地域への適用である。

(1) バイオマスの地域における活用状況に関する研究

利用可能性のある資源、生産可能な製品、現状の処理機能等について幅広く情報収集するとともに、これらの地域資源から生産可能な製品の機能についての実証試験や市場性等について検討する。また、検討結果をモデルに適用できるようGISデータ等も整備する。

(2) 技術情報基盤の開発・研究

バイオマス資源の収集に係る物流や変換技術情報をモデル化する。当研究チームが有するシミュレーション環境（プロトタイプ）と地理情報と密にリンクして、使いやすい技術情報基盤を構築するとともに、コスト、LCA、環境会計などの様々な評価を行う機能をも充実させる。

(3)導入過程に関する研究

バイオマスを地域で円滑に循環させるために必要な基礎データ（法規制、住民意識等）についての情報収集を行う。また、新たな導入システムの選定過程に関する研究を行い、地域にバイオマス利活用システムを導入する方針や合意形成に関わるガイドラインを示す。

(4) 地域への適用方法に関する研究

上記の方法論や情報基盤を利用して、青森県が期待するバイオマス資源利用システムの可能性について詳細に検討する。

<研究代表者>	仲 勇治	東京工業大学　資源化学研究所　教授（64才）

No.	サブテーマ名		氏　名	所属機関名・部局・役職名
(1)	バイオマスの地域における活用状況に関する研究	○	坂本　清	青森県産業技術センター農林総合研究所 土づくり研究部長
			八木橋　明浩	青森県産業技術センター農林総合研究所 研究管理員
(2)	技術情報基盤の開発・研究	◎	仲　勇治	東京工業大学　資源化学研究所　教授
(3)	導入過程に関する研究	○	金藤　正直	弘前大学　人文学部　准教授
(4)	地域への適用方法に関する研究	◎	仲　勇治	東京工業大学　資源化学研究所　教授